

産地生産基盤パワーアップ事業
(都道府県事業評価報告書)

都道府県名 福島県

I 産地パワーアップ計画 (収益性向上タイプ)

1 成果目標

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容	事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性
					現状			目標			実績												
					年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位										
会津若松市農業再生協議会	3	会津若松市、喜多野町、下郷町、只見町、磐前町、西会津町、湯川町、三島町、西会津町、磐梯町、北塩原村、会津坂下町、相津町、会津美里町、昭和村	施設・露地野菜(アスパラガス)	①選果施設を導入し生産者の選果、選別・調整作業の省力軽減による作付面積の拡大を図る。 ②JAと全農との共同運営による業務の効率化に取組む。常設選果体制の強化による生産基盤の維持・拡大を図る。 ③既存集出荷施設を集約し、再編し物流の合理化と効率的な職員配置により出荷コストの削減を図る。 ④パッケージ室を併設し実需者ニーズに対応した包装を行う。包装機導入による生産者手取りの最大化を図る。	29	655.590千円	160.2 ha	699 t	3	589,559千円	161 ha	966 t	R3	586,538千円	121.8 ha	465 t	104.6%	稼働開始より2年度目となり運営が軌道に乗っており、利用率は前年度より17%向上し、また処理量も555トン増加している。費用面においては、特に人件費・施設管理費の大幅な削減により目標達成を達成できている。引き続き、処理量増加に向け施設化を中心とした産地拡大に取り組みしていく。	会津地方の既存の集出荷施設を事業により新たに整備した「会津野菜館」に整理統合したことにより、産地全体の集出荷コストの削減が図られた。今後も関係機関と連携し、施設化の推進による施設面積拡大や技術指導による収量確保や施設の利用効率向上等の取組による更なるコストの削減を支援していく。				
					27~29	18,596千円	59.26 ha	1,236 t	3	16,524千円	64.69 ha	1,349 t	R3	13,157千円	60.5 ha	675 t	262.5%	選果機導入による箱詰め作業人数の削減、必要経費削減し労務管理の徹底により目標は達成できたが、凍害被害により出荷量が大幅減少したこともその一因となった。例年通りの出荷量でもコスト削減できるような引き続き取り組んでいくとともに、面積及び生産量についても目標を達成できるような指導を継続していく。	選果時の人員配置の工夫等によりコスト削減の目標を達成したが、令和3年度の凍害被害により出荷量が減少した要因も大きい。栽培面積は拡大しているため、出荷量が増加した場合でも同様の効果が得られるよう、関係機関と連携し支援を行っていく。				
					29	109,094円/10a	65 ha	284.3 t	3	95,970円/10a	65 ha	322 t	R3	130,372円/10a	65 ha	201 t	-162.1%	施設導入により、取組主体への種苗費等のコスト削減は図られているものの、燃料や肥料等のコストの軽減は図れているものの、光熱費や燃料費の高騰により達成率はマイナスとなっている。令和4年度は、経営の見直しを行い、達成率がプラスになるようコストの削減を図るよう指導を行う。	種苗費等のコスト削減は図られているものの、燃料や肥料の高騰により目標は達成できなかった。今後も引き続きコスト削減の取り組みを進め、地域の手しとしての取り組みについて支援していく。				

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)		事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性											
					現状			目標			実績			前年度	目標年度																					
					年度	面積 単位	生産量又は出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位		生産量又は出荷量 単位	価格(販売単価) 単位							生産コスト 単位										
伊達市地域農業再生協議会	2	伊達市桑折町国見町	施設野菜(きゅうり)	1. きゅうりの選果機を導入し、品質の均一化を図る。 2. 全農福島本部、各産地出荷市場、JAふくしま未来の連携を密にし生産物の常設選果体制の強化を図る。 3. 販路開拓の取り組みを強化し、出荷価格の向上を図る。 4. 選果機導入により削減された労力の一部を栽培管理に充てることにより、収量増加による生産量拡大により収益性・品質の向上を図る。 5. 施設化の推進並びに、自走式防除機の導入により長所収穫による出荷量の増加を図る。 6. 実需者から要望の高い「安全・安心」な農産物生産のため常設選果体制の強化を図る。	28	1,138,000,000円	43.2 ha	3,211,657 kg	354 円/kg	—	3	1,284,000,000円	47.3 ha	3,642,870 kg	352 円/kg	—	R3	1,532,194,898円	50.2 ha	4,716,786 kg	325 円/kg	—	320 円/kg	277 円/kg	1.155	1,770,563,649円	433.3%	JAの出荷販売実績より算出	令和3年度は単価が低減し販売額が1,711,008千円から1,532,195千円へ減少したものの、面積及び出荷量は目標を超過したため、成果目標を達成した。今後も引き続き、関係機関と連携し、施設導入や選果機等による安定生産の取り組みを支援していく。	令和3年度は単価が低減し販売額が1,711,008千円から1,532,195千円へ減少したものの、面積及び出荷量は目標を超過したため、成果目標を達成した。今後も引き続き、関係機関と連携し、施設導入や選果機等による安定生産の取り組みを支援していく。						
					29	519,492円/10a	55.4 ha	354,834 kg	811 円/kg	—	3	574,733円/10a	56.2 ha	375,000 kg	861 円/kg	—	R3	912,019円/10a	58.9 ha	364,804 kg	1,472 円/kg	—	969 円/kg	1,417 円/kg	0.684	623,709円/10a	188.7%	JA販売実績を比較する	事業による施設化を進めたことで、品質向上に伴う単価向上により販売額が増加し、目標を達成することができた。今後も引き続き、関係機関と連携し、選果機導入や栽培面積の拡大を図るよう支援する。	面積及び販売量は昨年並みであったが、単価が昨年より高く、10aあたり販売額は昨年並みから増加した。今後も引き続き、関係機関と連携し、選果機導入や栽培面積の拡大を図るよう支援していく。						
					29	356,338千円	6.7 ha	生産量 1124.6 t	316 円/kg	—	3	468,940千円	7.7 ha	生産量 1479.8 t	316 円/kg	—	R3	420,701千円	7.7 ha	1,433 t	294 円/kg	—	403 円/kg	383 円/kg	1.052	443,210千円	77.1%	現状の販売額との比較(JA販売代金生産明細書による確認)	冬季の寒害及び燃費高騰の影響により施設内の温度設定を低くしたことから、病害が発生し、予想より収量が伸びなかった。適切な温度管理の徹底を図る。また、高温期における果実の肥大・充実に向けた養液管理等について、関係機関と連携し、効果的な防除方法に関する指導・情報提供を行う。	販売単価の減少により目標の達成には至らなかった。これは病害、生理障害による収量の伸び悩みが要因であり、環状制御システム運用の技術向上、適切な温度管理の徹底を図る。また、高温期における果実の肥大・充実に向けた養液管理等について、関係機関と連携し、効果的な防除方法に関する指導・情報提供を行う。						
郡山市農業再生協議会	1	郡山市湖南	施設野菜(トマト)	①高性種なトマト共同選果機導入による選果効率及び品質の向上を図る。 ②栽培用施設の導入による生産規模の拡大を図る。	28	94,396千円	3.6 ha	生産量 371.9 t	254 円/kg	—	3	122,531千円	4.5 ha	生産量 409.8 t	274.6 円/kg	—	R3	106,569千円	3.7 ha	339 t	314.8 円/kg	—	366 円/kg	323 円/kg	1.133	120,732千円	145.2%	現状の販売額との比較(販売額を出荷伝票により確認)	選果機導入により、品質の高性種なトマトの共同選果機が導入されたため、出荷量及び販売単価が増加し、販売額の増加目標が達成された。また、共同選果機導入により選果効率が向上し、より多くのトマトの選果が可能となった。新たに光センサーによる高品質なトマトの出荷・販売が可能となった。今後も関係機関と連携し、産地の維持・発展を図るよう指導する。	選果機導入により、品質の高性種なトマトの共同選果機が導入されたため、出荷量及び販売単価が増加し、販売額の増加目標が達成された。また、共同選果機導入により選果効率が向上し、より多くのトマトの選果が可能となった。新たに光センサーによる高品質なトマトの出荷・販売が可能となった。今後も関係機関と連携し、産地の維持・発展を図るよう指導する。						
					30	429,982千円	438 ha	生産量 5,711,855 本	75.3 円/本	—	3	583,742千円	535 ha	生産量 6,656,855 本	87.7 円/本	—	R3	619,485千円	608 ha	7,149,683 本	86.6 円/本	—	—	—	—	—	—	—	—	123.2%	野菜苗の年間売上げ実績にて検証	面積当たりの作付け本数が少ない品種の出荷が伸びたため、収益性が前年の60haから608haに減少したが、キュウリの出荷本数を前年より増やしたことで売上げが増加した。事業導入された施設で継続的に野菜苗の生産が行われており、今後ますます供給数が増加していくことが期待される。	野菜苗について、市場取引を行っており、外的要因による価格変動の影響を受けにくい。価格補正を行わない。			
					30	1,121,813円/10a	18.71 ha	670,788 kg	313 円/kg	—	3	1,234,914円/10a	19.05 ha	735,540 kg	320 円/kg	—	R3	1,362,788円/10a	16.34 ha	728,217 kg	306 円/kg	—	419 円/kg	374 円/kg	1.120	1,527,384円/10a	358.6%	品目毎・個人毎のJAが取扱う販売実績の合計額を使用して、現状及び目標の比較を行う	生産者の高齢化等により生産者数及び作付面積は減少したが、本事業での施設化による収量向上や安定化の効果が、きゅうりの生育が好調であったことから出荷量は増加し、目標である単位面積当たりの販売額を達成することができた。今後も引き続き、施設化の取組みを推進することにより、産地の維持・発展を図るよう指導する。	生産者の高齢化等により生産者数及び作付面積は減少したが、本事業での施設化による収量向上や安定化の効果が、きゅうりの生育が好調であったことから出荷量は増加し、目標である単位面積当たりの販売額を達成することができた。今後も引き続き、施設化の取組みを推進することにより、産地の維持・発展を図るよう指導する。						

会津美里町農業再生協議会	3	会津美里町	施設野菜(アスパラガス・キウリ・トマト)・露地野菜(アスパラガス)	パイプハウス及びかん水設備等の整備 ①パイプハウスを整備することにより、天候に左右されにくい栽培体系の確立及び長期安定出荷の実現を目指すことにより、品質の向上及び出荷量の拡大を目指す。②かん水設備を整備することにより、品質の向上及び出荷量の拡大を目指す。③部会を通して栽培講習会及び現地指導会等を積極的に開催し、指導による出荷量の増大を実現する。施設野菜産地の形成の推進	販売額の10%以上の増加(単位面積当たりの販売額10.1%増加)	30	1,275,548千円/10a	19.91	ha	生産量751,521 kg	329	円/kg	—	3	1,404,389千円/10a	20.19	ha	生産量891,850 kg	318	円/kg	—	R3	1,411,618千円/10a	21.78	ha	1,121,106	kg	274	円/kg	—	419	円/kg	374	円/kg	1,120	1,579,637千円/10a	品目毎・個人毎のJAが取扱う販売種類の合計額を使用して、現状及び目標の比較を行う	236.0%	導入した設備や機械を十分に活用し安定して高品質な作物の生産ができたため、目標年度の目標値を達成した。	産地においては本事業での施設化により、近年の凍害等の影響も受けるとなく安定した収穫と品質を確保し出荷量が拡大している。引き続き、各部会の出荷体制も強固なものとして産地拡大に向けた支援を継続していく。	施設野菜(アスパラガス・キウリ・トマト)・露地野菜(アスパラガス)	
南会津町農業再生協議会	9	田島 錦岩 伊南 南郷	施設野菜(トマト)	①パイプハウス導入による「南郷トマト」ブランドとして取引される高品質なトマトの更なる産地拡大・生産規模拡大 ②トマトの新規栽培(就農)者については、就農前に先進農家での栽培研修を1~2年間実施することにより、栽培技術の習得と高品質トマトの標準化を目指す ③組合員全員のエコファーマー取得や、放射性物質の自主検査の実施などにより、安全・安心な農産物を提供する ④県や町の単独事業を活用したかん水装置の導入による高品質なトマトを安定的に供給	販売額10%以上の増加(総販売額11.9%増加)	30	808,840千円	28.4	ha	生産量2,413,174 kg	335	円/kg	—	3	905,001千円	28.9	ha	生産量2,556,500 kg	354	円/kg	—	R3	672,611千円	24.2	ha	1,845,223	kg	365	円/kg	—	338	円/kg	323	円/kg	1,046	703,551千円	南郷トマト生産組合の出荷及び販売額による検証	-109.5%	早期の梅雨明けや夏季の日照不足等の天候不順に対応した管理作業ができなかった生産者では、病害発生等の原因により収量が低下したこともあり、目標は達成していない。引き続き各種事業を活用した施設面積の拡大や病害発生等により収量が低下したこともあり、目標は達成していない。引き続き各種事業を活用した施設面積の拡大や病害発生等により収量が低下したこともあり、目標は達成していない。引き続き各種事業を活用した施設面積の拡大や病害発生等により収量が低下したこともあり、目標は達成していない。	施設野菜(トマト)		
矢吹町農業再生協議会	1	矢吹・中畑・三神地区	施設野菜(トマト)	①自動梱包装置の導入により出荷時の荷受け待ち時間を減少させ圃場管理への時間を増加させることにより品質向上及び栽培面積の増加を目指す ②新規パイプハウスの導入により栽培面積の増加を図る。	販売額の10%以上の増加(総販売額11.9%増加)	30	236,651千円	8.8	ha	748	t	316	円/kg	—	3	260,664千円	10.9	ha	924	t	282	円/kg	—	R3	264,801千円	10.5	ha	848	t	312	円/kg	—	338	円/kg	323	円/kg	1,046	276,746千円	現状の販売額との比較(販売額は精算書により確認)	167.5%	矢吹・中畑地区においては自動梱包機の導入により作業効率が向上したため、現状よりも出荷量を確保することができた。高収量などの気象変動の影響や病害虫の発生により、出荷ロスが発生した結果、販売額も目標を下回ってしまった。三神地区においては、JA夢みなみが中心となって作付を推進した結果、栽培面積が拡大し、出荷量が増加した。また、販売額が高い冬トマト「旬太郎」ブランドとして高単価で取引された。これら取組により、町全体で大幅に目標を超えることができた。今後は目標達成に向け、高単価で取引される冬トマトの栽培を検討するとともに、出荷ロスの低減に向け、ハウスの温度管理や病害虫の防除	施設野菜(トマト)
矢吹町農業再生協議会	2	矢吹・中畑地区	露地野菜(ブロッコリー)	真空冷却装置の導入による出荷作業の効率化及び品質の保持を図る。	販売額の10%以上の増加(11.9%増加)	30	51,878千円	17.3	ha	207.4	t	250	円/kg	—	3	57,100千円	17.6	ha	210.7	t	271	円/kg	—	R3	61,240千円	25	ha	246	t	249	円/kg	—	396	円/kg	346	円/kg	1,145	70,193千円	現状の販売額との比較(販売額は精算書により確認)	350.7%	病害の発生が少ない春ブロッコリーにおいて、作型の分化(マルチとトンネルの組合せ栽培)が定着したことで高品質のものが安定して供給できるようになり、安定的に出荷することができた。また、導入した真空冷却装置が活用され、鮮度維持につながっている。これら取組により大幅に目標を超えることができた。今後は目標達成に向け、高単価で取引される冬トマトの栽培を検討するとともに、出荷ロスの低減に向け、ハウスの温度管理や病害虫の防除	露地野菜(ブロッコリー)
福島市地域農業再生協議会	3	福島市 川俣町 伊達市 二本松市 飯舘村 南相馬市	露地花き(小菊)	小菊機械共進施設の施設稼働により、収穫後の選別作業を掛け負い処理数量の増加による集約アップを図る。	販売額の10%以上の増加(10.6%増加)	R1	1,110千円/10a	43.7	ha	28,728	本/10a	38.7	円/本	—	R3	1,228千円/10a	44	ha	31,500	本/10a	39	円/本	—	R3	1,230千円/10a	41.2	ha	28,753	本/10a	42.8	円/本	—	39	円/本	43	円/本	0.907	1,121千円/10a	JAふくしま未来花卉出荷協議会販売実績による	9.3%	JAふくしま未来花卉出荷協議会販売実績による	露地花き(小菊)

(5) 農産物輸出の取組(直近年の輸出実績がある場合の輸出向け出荷量又は出荷額の10%以上の増加、新規の取組の場合又は直近年の輸出実績がない場合の総出荷額に占める輸出向け出荷額の割合5%以上又は輸出向け年間出荷量10トン以上)

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標		現状				目標				実績				事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県等の評価	備考	目標の実現可能性							
					年度	年間出荷量10t以上(24t)	年度	面積(単位)	総出荷量又は輸出向け出荷量(単位)	年度	面積(単位)	総出荷量又は輸出向け出荷量(単位)	年度	面積(単位)	総出荷量又は輸出向け出荷量(単位)	年度	面積(単位)	総出荷量又は輸出向け出荷量(単位)													
会津美里町農業再生協議会	2	会津美里町	水稲	乾燥調整施設の整備 ①新たな施設として海外への輸出に有利な環境、国産行政からの補助金を考慮しても輸出米価格が国内流通米価格を下回っているため、乾燥調整が一体となり多収性品種の導入と多収収増体系、生産コスト削減のための乾燥調整施設を、技術の確立を図りながら生産コスト削減、安定した単収を得ることで、国際競争への対応を進める。②輸出米価格を把握するためのモニタリングを行い、生産調整を行う。高品質な玄米として出荷を行う。	輸出向け年間出荷量10t以上(24t)	29	2,500	ha	14,962	t	0	t	3	2,500	ha	15,016	t	24	t	R3	2,807	ha	17,010	t	18.33	t	76.4%	JAが取り扱う輸出米の取扱いは実績をもとに取扱料を検証する。	新型コロナウイルスによる輸出先の需要減少により、目標を達成することができなかった。今後、輸出量拡大に向け、導入された乾燥調整施設から出荷される高品質な玄米として更なるブランド力強化を図りつつ、地域で普及している湛水直播以外にも、乾田直播技術やスマート農業技術の導入を普及、推進して一層の省力・低コスト化を図り、国際競争に抵抗できる生産を支援する。また、新規需要米としての作付け誘導を一体となって支援する。	新型コロナウイルスによる輸出先の需要減少により、目標を達成することができなかった。今後、輸出量拡大に向け、導入された乾燥調整施設から出荷される高品質な玄米として更なるブランド力強化を図りつつ、地域で普及している湛水直播以外にも、乾田直播技術やスマート農業技術の導入を普及、推進して一層の省力・低コスト化を図り、国際競争に抵抗できる生産を支援する。また、新規需要米としての作付け誘導を一体となって支援する。	水稲
伊達地域果樹産地協議会	1	桑折町	果樹(もも)	長期間の輸送による果実腐敗の発生・拡大を抑制するために、果実が傷みにくく、選果速度の速いセンサー選果システムを導入する。	輸出向け出荷量の10%以上の増加(100%増加)	30	1,500kg	156	ha	1,026	kg/10a	920	千円	3	1,056	kg/10a	1845	千円	R3	200kg(40ヶ所*5kgDB)	169	ha	752	kg/10a	138	千円	-86.7%	輸出向け出荷実績を比較する	新型コロナウイルス感染症による世界経済の景気低迷により、国内出荷量・輸出出荷量ともに減少したため、目標を達成出来なかった。令和元年度時点では目標を上回る10,000kgの実績があるため、コロナ終息後を見据え、関係機関と連携し、出荷量・出荷先を増やす取組を進める。	新型コロナウイルス感染症の影響により輸出出荷量が減少したため、目標を達成出来なかった。令和元年度時点では目標を上回り、コロナ終息後を見据え、関係機関と連携し、出荷量・出荷先を増やす取組を進める。	果樹(もも)

都道府県平均達成率 72.7%

総合所見

評価地区16地区中、10地区が達成、6地区が未達成となった。目標達成地区では、施設整備、機械及び生産資材導入により生産コスト削減や販売額増加の効果が現れた。一方、目標未達成地区においては、次の要因により事業効果が十分に発現せず、産地として目標が達成できなかった。

- ・コスト削減・施設等導入による償却費の増加、全国的な物価高騰等による経営費の増加、中心的な担い手の農地集積の遅れ
- ・販売額増加・廃作等による産地面積縮小、天候不順等による生育不良・病害虫発生や燃料価格高騰の影響による生産量減少
- ・輸出量増加：コロナ禍による輸出先の需要減少及びプロモーション活動の実施困難

目標達成地区については更なるコスト削減や販売額向上に向け引き続き支援を行うとともに、目標未達成地区については地域農業再生協議会等関係機関と連携しながら目標達成に向け地域の実情に応じた指導を行っていく。